

経営比較分析表（平成29年度決算）

岐阜県恵那市 市立恵那病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者（代行制）	20	対象	ド訓	救へ輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
50,934	30,063	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

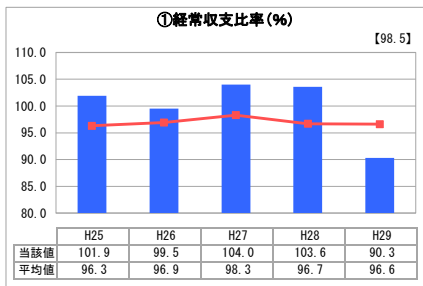
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
199	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	199
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
199	-	199

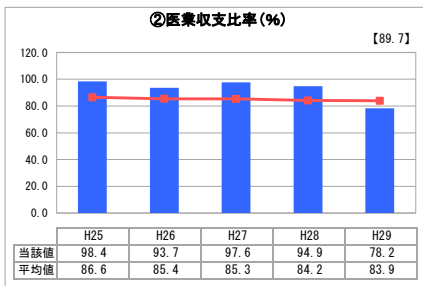
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

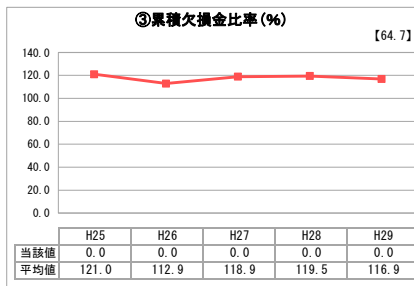
1. 経営の健全性・効率性



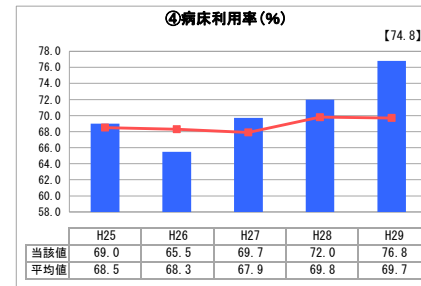
「経常損益」



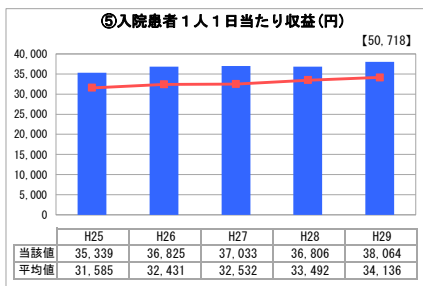
「医業損益」



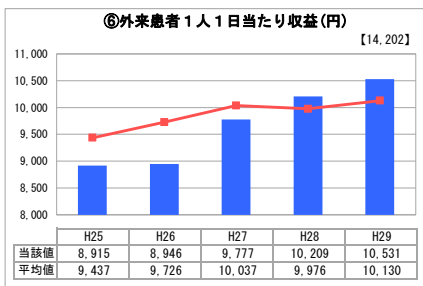
「累積欠損」



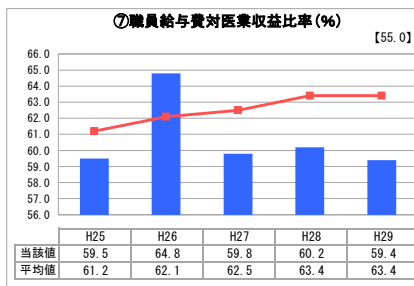
「施設の効率性」



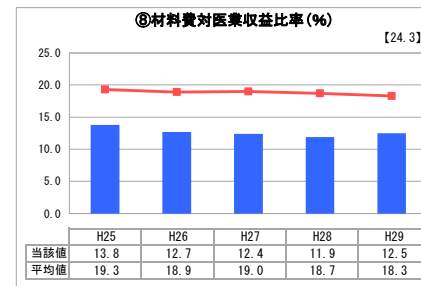
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

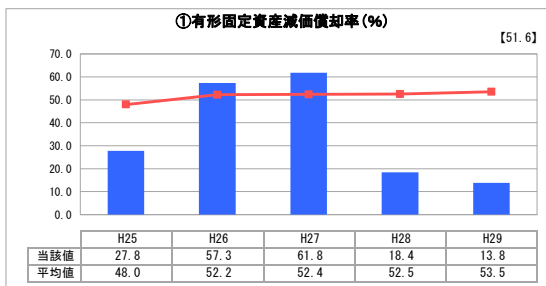


「費用の効率性①」

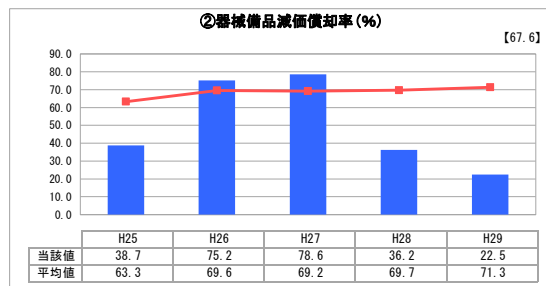


「費用の効率性②」

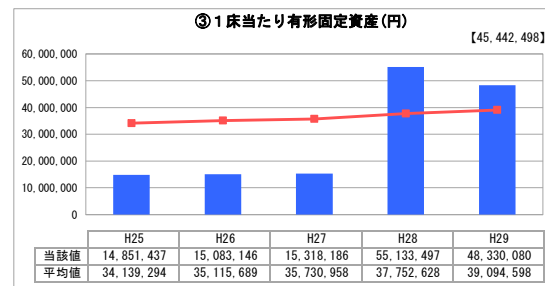
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

○救急医療の提供 重症患者の救急搬送受入。休日及び夜間における入院治療を必要とする重症救急患者の受入。
 ○へき地における医療の提供 へき地医療拠点病院として、市内の公立診療所への医師等の派遣。
 ○小児医療の提供 恵那市で唯一の小児の入院機能を有する専門医療機関。
 ○地域医療を担う人材育成 臨床研修医協力施設として研修医、看護学生、医療技術学生の研修受入指導の実施。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

○経常収支比率・医業収支比率
 新病院建築工事の完成とそれに伴う機器の更新により固定資産の除却費が大幅に増加した事等により費用が増加したため経常収支比率・医業収支比率とも前年度を下回った。
 ○病床利用率
 気候的要因（猛暑）による入院患者数増加により前年度を上回った。
 ○入院患者1人1日あたり収益
 リハビリ職員増員による保険点数の増加や一般病棟割合の増等により当該値が増額した。
 ○外来患者1人1日あたり収益
 平成28年11月の新病院開院時に開設した血液浄化センター、健康管理センターの収益増等により当該値が増額した。

2. 老朽化の状況について

○有形固定資産減価償却率・機械備品減価償却率
 平成28年11月の新病院完成及びそれに伴う機器の更新を行ったため、資産の帳簿価額が増加したことにより、当該数値が大幅に減少している。
 ○1床当たり有形固定資産
 平成28年度に新病院建築工事が完了したことにより固定資産額が増額し、大幅な増加となった。平成29年度は旧病院の取り壊しもあり、前年度に比べ減少している。

全体総括

○病床利用率は、平成27年度末で結核病床を一般病床化したことにより、平成28年度以降は病床利用率が上昇しており、このまま維持していきたい。
 ○平成28年11月に新病院が開院し、新たに血液浄化センター、健康管理センターを開院。平成29年4月から産婦人科を設置したことにより、外来患者数・入院患者数は増加しているが、新病院建築工事の完成とそれに伴う機器の更新により、固定資産額の増加による費用増額のため赤字となった。医療機器の減価償却期間が終了する平成35年度以降を目標に黒字化を目指す。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（平成29年度決算）

岐阜県恵那市 国民健康保険上矢作病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	12	-	ド訓	救臨へ輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
50,934	3,238	第1種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

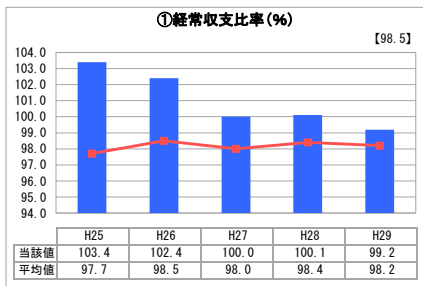
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
56	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	56
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
52	-	52

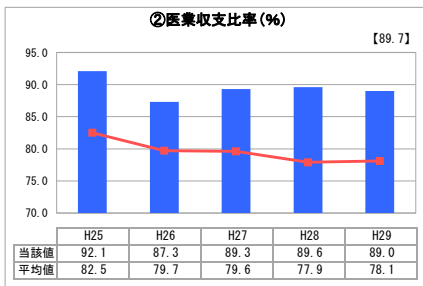
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

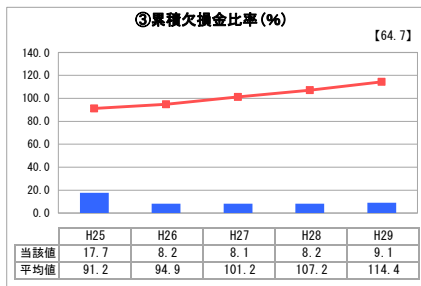
1. 経営の健全性・効率性



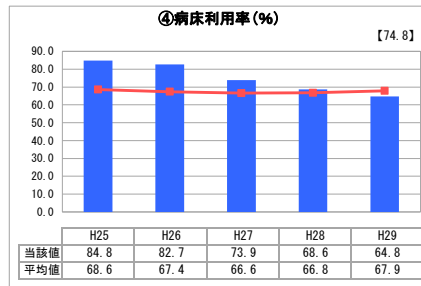
「経常損益」



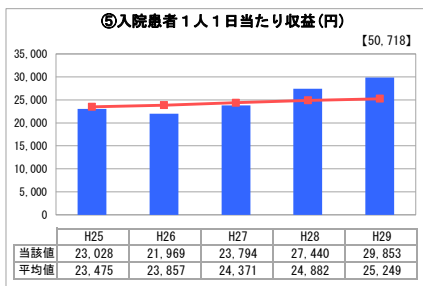
「医業損益」



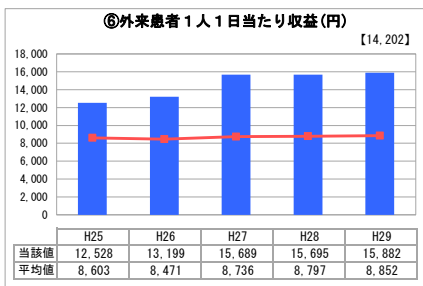
「累積欠損」



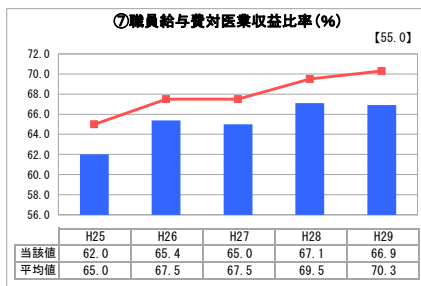
「施設の効率性」



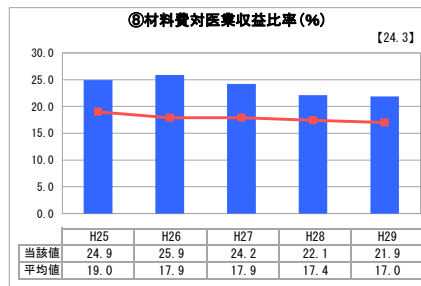
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

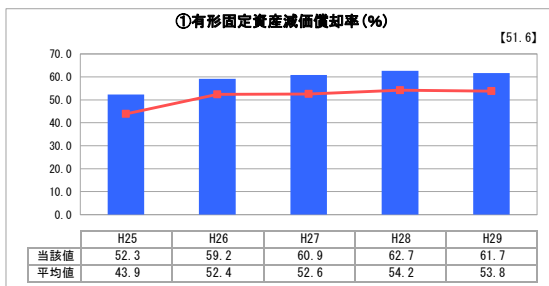


「費用の効率性①」

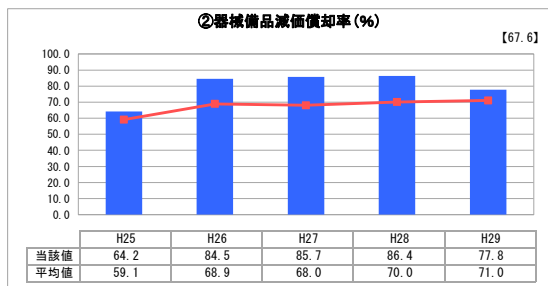


「費用の効率性②」

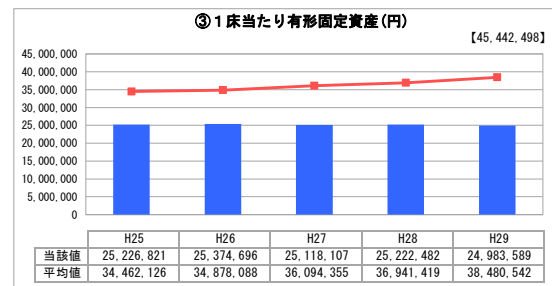
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

○へき地における医療の提供へき地医療拠点病院として、市内の公立診療所への医師等派遣。
 ○救急医療の提供 休日及び夜間における治療を必要とする救急患者の受入。
 ○地域医療を担う人材育成 臨床研修医協力施設として研修医・医療技術学生の研修受入指導の実施。
 ○地域包括医療 住民が住み慣れた場所で安心して自立した生活が出来るように医療の提供

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

○経常収支比率 緊急修繕があり費用の増加に伴い赤字を計上した。病床利用率を向上させ黒字経営に転換させる。
 ○医業収支比率 病院の医業活動の費用に対する医業収益の割合は、類似病院平均値は概ね上回っている。
 ○累積欠損金比率 単年度収支の黒字に転換させつつ累積欠損金を解消するよう経営努力をする。
 ○病床利用率 64.8%と70%を下回る利用率であったが、患者数の減少により下回ったため今後患者数の増加に努め、利用率の向上を図る。
 ○入院・外来患者1人1日当たり収益 当年度は入院・外来ともに、前年度に引き続き類似病院平均値を上回る事ができたため、引き続き維持する。
 ○職員給与費対医業収益比率 類似病院平均値を下回っているため、引き続き維持する。

2. 老朽化の状況について

○有形固定資産・機械備品減価償却率 両者とも類似病院平均値を上回っている。老朽化が進み適切な更新等の計画に基づき適宜更新し経営する。
 ○1床当たり有形固定資産 類似病院平均値を下回っている。過大な投資をせず今後も適切な投資を維持する。

全体総括

地域において担っている役割を達成しつつ、地域包括医療・ケアに邁進し健全な運営を行い、平成29年度の経営比較分析表を参考に当院のおかれている状況を把握する。経営については経常収支が単年度毎に黒字を確保していたが当該年度については赤字を計上させた。病床利用率が70%を下回っているため、患者数の増加に努め、経常収支の黒字化を図る。
 また、材料費対医業収益比率が類似病院平均値を上回っているため、安価な薬品・診療材料の購入に努め今後もより一層健全な経営・運営を行う。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。